

## 見世 千賀子

MISE, Chikako



## 【共同研究】

- 多文化共生社会における市民性の教育に関する研究プロジェクト  
このプロジェクトでは、多文化共生社会において求められる市民的資質とは何かを検討し、かつそれを学校教育でどのように育成するのか、そのためのカリキュラム開発を行うことを目的としている。今年度は、東京都立小山台高校定時制課程における学校設定科目「市民科」の授業を受けた生徒の記述の分析、検討を行った。併せて、卒業生へのインタビューを実施した。研究成果を国際理解教育学会研究大会において報告した。また、著書の刊行に向けた原稿の執筆・検討作業を行った。(座長・見世千賀子)
- 海外子女教育の新展開に関する研究プロジェクト  
在外教育施設に学ぶ子どもの実態の多様化が進む中、その多様性に対応するための取り組みが始まっている。このプロジェクトでは、そのような実態を把握し、今後どのような教育が可能か検討することを目的とする。今年度は、日本人学校、補習校における教育、支援ニーズについて、情報収集を行った。(座長・見世千賀子)

## 【科研費等の研究】

- 科研費基盤研究 (C) 「グローバル化時代における市民性教育の国際比較研究」(平成27～30年度 研究代表：見世千賀子)  
本研究は、オーストラリア、日本および日本の在外教育施設におけるグローバル市民の育成、グローバルシティズンシップの教育に関する理論、政策、実践を明らかにすることを目的とする。今年度は、海外の日本人学校および国内での実践、およびオーストラリアでの取り組みについて、調査、情報を収集し検討を行った。
- 海外子女教育振興財団「G - ONE Project」(Global Overseas New Education Project) (平成28年～ 研究代表：佐藤都衛 明治大学、中村雅治 財団理事長)  
本プロジェクトは、海外子女・帰国子女教育のさらなる活性化を目指し、あらたな政策提言を行っていくため、また、在外教育施設と協働で課題に向き合い、グローバル化時代の新たな教育を創造する目的で立ち上げられた。今年度は、国内において、ホノルル補習校、ベルギー補習授業校の前校長から、子どもの実態、学校の現状と課題について聞き取り調査を行った。
- 文部科学省委託事業「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」(受託：海外子女教育振興財団「AG5Project」(Advanced Global 5 Project) (平成29～33年 研究代表：佐藤都衛 明治大学、中村雅治 財団理事長)  
本事業は、在外教育施設において高度グローバル人材の育成を目指す取り組みを支援するものであり、5つのテーマについて、共同研究・開発を進めている。このうち、テーマ2「日本人学校における日本語プログラム開発」(台北・台中・高雄日本人学校)、テーマ5「日本文化発信の拠点形成のプログラム開発」(アスンシオン日本人学校)の2つのプロジェクトのチームリーダーを担当した。

## 【研究業績】

- ①見世千賀子著「台北・台中日本人学校を訪問して」『海外子女教育』9月号 No.535、海外子女教育財団、2017。
- ②書評 岡村郁子著『異文化間を移動する子どもたちー帰国生の特性とキャリア意識』明石書店、『海外子女教育』7月号No.533、海外子女教育財団、2017。
- ③学会発表「多文化共生社会における市民性教育の検討ー小山台高校定時制課程「市民科」の取り組み」国際理解教育学会第27回大会(於：筑波大学2017年6月4日)角田仁先生(一橋高校)との共同発表。

## 【海外調査】

- 2017年6月27～30日、台北・台中日本人学校において国際結婚家庭の子どもへの日本語指導等に関する調査。
- 2017年7月18～19日、プラハ日本人学校等においてグローバルシティズンシップの教育に関する調査。
- 2017年8月30日～9月6日、オーストラリア・シドニーにおいてEALに関する聞き取り調査、および、メルボルンにおいてCLILによる日本語指導および難民子弟へのEAL指導に関する授業観察および調査。
- 2017年10月3～14日、パラグアイ・アスンシオンにおいて、アスンシオン日本人学校、アスンシオン日本語学校、日本パラグアイ学院を訪問し、AG5に関する調査。リオデジャネイロ日本人学校における中南米地区校長会に参加。
- 10月31日～11月2日、台北日本人学校、12月11～14日、台中日本人学校、高雄日本人学校、12月26～28日、台北日本人学校において、AG5に関連する調査、研修を行った。

## 【講演会・研究会への参加】

- (公財)兵庫県国際交流協会・NPO法人神戸定住外国人支援センター・兵庫県教育委員会・神戸市主催、「多文化共生」を考える研修会2017、第3回「多様性を理解するために必要なこととは」において「多文化社会に向けた市民性教育～オーストラリアと日本の取り組みが示唆するもの～」と題して講演を行った。(2017年8月25日、於：国際健康開発センター)
- 2018年1月16～25日、AG5、アスンシオン日本語学校および日本パラグアイ学院の教師3名の国内研修を企画・実施。
- 2月15～19日、AG5、台湾の台北・台中・高雄日本人学校教員6名の国内研修を企画・実施。

## 【学内の活動】

- 海外子女教育セミナー企画・実施。(2017年5月26日)
- 国際教育センター40周年事業シンポジウム「国際教育センターと文化間移動する子どもの教育」を企画・実施し、「文化間移動する子どもの教育への国際教育センターの取り組み」と題した報告を行った。(2018年1月27日)
- 『国際教育評論』の編集を担当した。
- 学芸カフェテリア講座(カフェメイツ企画)「こんなにおもしろい！世界の日本人学校」(2017年6月12日)
- 教員免許更新講習必修の講義を担当した。

## 【主な学会活動】

- 異文化間教育学会 (常任理事、広報・情報化委員会委員長)
- 国際理解教育学会 (紀要編集担当)
- 日本比較教育学会
- オセアニア教育学会

## 【教育活動】

- 東京学芸大学教育学部「海外・帰国児童生徒教育論」
- 東京学芸大学大学院教育学研究科「国際教育特論」「国際教育演習」
- 非常勤講師、青山学院大学教育人間科学部「異文化理解教育」、中央大学文学部「国際比較教育学」、武蔵野大学大学院「比較教育研究」
- 東京学芸大学大学院教育学研究科学校教育専攻学校教育コース(比較・国際教育学領域)の院生3名の修論指導の指導を担当した。
- 東京学芸大学交換留学生1名(韓国)、短期留学プログラム留学生1名(オーストラリア)の指導を担当した。
- この他、随時、本学および他大学の卒論・修論等の相談を受けた。